

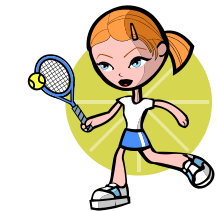
## 会員の皆さんの活動報告

### 「ショートテニス大会」

今回のショートテニス大会では、主に審判をさせて頂きました。基本的に審判の指示で全体が動くので、カウントミスやトラブルが起きないかどうか、正直とてもハラハラしていました。また、全盲・弱視の部では選手が“音”を頼りにプレイしているので、主審をすると同時に常に選手の立場に立ち周りの音に注意を向けるという難しさを感じました。一方、知的の部ではボールパーソンからボールをもらおうと、その場ですぐにボールを打ってしまう人が多く、サーブの順番や立ち位置の誘導が間に合わず混乱する場面も多々ありました。そのため、主審の指示だけではなく周りのスタッフとのチームワークがいかに大切であるかということを知りました。このような審判をする機会はなかなかないので、審判の難しさややりがいというものを感ずることができ大変良かったと思います。審判以外に全体の試合を見てみると、選手の表情やプレイしている姿は人それぞれで、その選手にしか持っていない“自分らしさ”を見ることができ、スポーツの楽しさを感じることが出来ました。また、選手の中には、ボールがなかなかコートに入らずポイントにならない方もいましたが、コートに立つ喜び・ボールに触れる楽しさ・ラケットを振りまわすことも立派なテニスだと私は思いました。最後になりますが、このような素晴らしいショートテニス大会が行なわれたのは、たくさんの人が集まってこそ出来たものなので、これからも人と人との繋がりを大切にしていきたいと思いました。(M)



### 「ショートテニス大会」



私は 2008 年秋、大学 3 年生の時に社会福祉士の実習で 1 ヶ月間、東京都多摩障害者スポーツセンターでお世話になりました。実習を終えてからは、体育会のテニス部に所属していることもあり、なかなかボランティア等に参加出来ていませんでしたが、今回ショートテニス大会に久々に参加させて頂きました。久々にボランティアとして参加させて頂いて、私自身楽しかったです。正直、皆さん私のことを覚えているか、不安だったのですが、多摩障害者スポーツセンターの職員の方々・ボランティアの方々・利用者の方々、今まで来られなかった期間がなかったみたいに自然と受け入れて下さいました。そのことがとても嬉しかったです。また、ショートテニス大会では審判・ボールパーソンとして参加させて頂いている私の方が緊張してしまうぐらい白熱した試合が沢山ありました。

私も幼い頃からテニスをしてきたのですが、テニスといったスポーツはこういうスポーツだ！という固定観念に今まで縛られていたのだと改めて痛感しました。どういった障害があろうとも、テニスを楽しめる。人それぞれ持っている個性は違います。その方の良いところを伸ばす。そして、その中でも競技スポーツとしての勝負の厳しさが刺激的でした。本当に学ぶことが多い一日でした。また、ボランティアに行きたいと思います。(E)

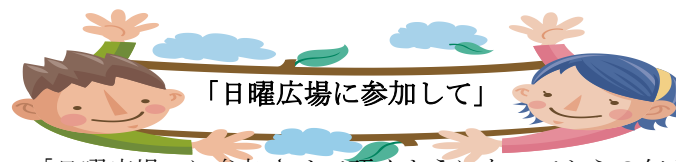
### 「クリスマス会」



クリスマス会にボランティアとして参加しました。1 ヶ月ぶりの活動という事もあり少し緊張もしました。落語やゲーム、クラフト作成を通し、参加者の方が楽しんで見受けられ良かったと思います。また、私自身もこの会をとっても楽しむことができました。これからも私自身が楽しみつつ、指導員の活動を継続していきたいと思います。(Y)

### 「多摩ポッチャ大会」

初めてポッチャの大会を見ましたが、みなさん真剣で見ているこちらにも真剣になりました。静かに熱いのが、ポッチャの魅力のひとつであると思います。ボランティアでは、招集担当でしたが、特に問題もなくスムーズに進みました。招集のボードを見て集まっていた選手のみなさんや、他の招集担当の方たちの協力のおかげであると思います。丸一日の長い時間でしたが、特に問題もなく進行してとても良い一日だったなと思います。とても良い経験でした。(O)



### 「日曜広場に参加して」

多摩障害者スポーツセンターの「日曜広場」に参加させて頂くようになってから8年が経ちました。この「日曜広場」というのは、毎月第3日曜日にスポーツセンター内にある体育館を使い、二時間半たっぷり身体を使って楽しくスポーツをしようという教室です。対象者の制限はなく、誰でも気軽に参加できるのです。内容もとても凝っていて、毎月、担当職員さんが考えて下さっています。何をするかという内容だけでなく、障害を問わず全員が楽しんでスポーツに参加できるか、危険な事は無いか、なども事細かく練りに練って私達ボランティアまでもが楽しめる時間にして下さいます。その甲斐もあって、利用者の方々もたっぴりの笑顔で二時間半、スポーツを楽しんで帰られます。「日曜広場」で行うスポーツは、ただサッカーやバレーボールを行うという場ではなく、もともと存在するスポーツでも使用する用具を変えたりルールを変更したり、とにかく全員が行えるようにします。例えば、当たっても危険のないように柔らかい物にしてみたり、目が不自由な方でも参加できるよう鈴入りボールにしてみたり、ある月の広場では、「昔の遊び」というのも企画されたりします。その内容は、紙皿の底に好きな模様や文字を書き二枚重ねてフリスビーを作ります。そしてそのマイ・フリスビーで飛距離を競ったり、ゲームをするというもので様々なスポーツを楽しむことができます。そんな、利用者の方々を楽しめる教室はボランティアの自分達までも楽しめるスポーツ教室なので、私も利用者の方々に安全に楽しんで頂ければ・・・という気持ちもありますが、それ以上に自分自身の身体も動かして、身体を動かすことにより利用者さんとのコミュニケーションが取れ親しくさせて頂けるきっかけにもなりますし、更に、危険なことに配慮をしたりする「気配り・目配り」のし方を職員さんやボランティアメンバーさんの動きから勉強をさせて頂けるという場にもなっていて、その学んだ事は普段の生活や仕事に生かす事ができます。私の日常は今、仕事ばかりになっていて唯一心身を解放し、心の底から笑顔になれる時間になっています。私には月一回のこの日が無くてはならないのです。私は、ボランティアというか・・・自分自身もこちらを利用して頂いている一人という感じです。些細なきっかけからのスタートではありましたが、センターにお世話になって本当に良かったと思っております。今後は・・・、というか、今更という気もしますが、もっとこの障害者スポーツに携わって参りたいと思っておりますので、講習会に出たり、少しでも沢山の行事に参加して行こうと思っております。(N)

### 「ハンドサッカー」

#### 「もっと自分を信じて!!」

コート内から聞こえる、仲間への声援。

#### 「早くて写真がブレちゃうよー!!」

想像以上のスピードに、うまく写真が撮れず焦る私・・・

球を仲間から受け取り、相手のゴール目指して走る、走る。

“ここで転ぶものか”と力を入れるあまり前傾姿勢になり、さらに加速。

そのまま体育館の床へ、ドテーン!!

球は見事、相手のゴールへ入った。

それは一瞬で、私はカメラのレンズ越しに見ていたのだが、あまりのスピードと、想像以上の面白さで、シャッターをきるのを忘れてしまっていた。

私は二年前から友人と一緒に、障害者自立支援法に基づき、訪問介護事業所を経営している。

この日は、利用者さんが参加している“ハンドサッカー”の練習試合があると聞き、会社のブログに載せる為の写真の撮りに行ったのだ。試合は体育館で行われていたのだが、それは初めての光景であった。

### 「車いすでサッカー・・・？」

ルールも分からない私は、正直、ゆったりとしたスポーツを想像していた。  
球の空気は7割程しか入っておらず、私が握ってもブヨブヨとへこむ程である。

試合の前は、ハンドサッカーに参加している障がい者の方々々に声をかけたりしたのだが、皆さん恥ずかしいのか、なかなか答えてもらえなかったり、声が小さく、ほとんど聞き取れなかった。

しかし、試合が始まると全く違った。

各々が各ポジションにつき、審判が笛を吹く。

「ピーッ！」

それまで話す声も聞こえなかった選手たちが、一気に声を出し始める。

「パス!パス!」「後ろにいるよ!」

ものすごい活気。

それまで私が想像していたスポーツとは、大きくかけ離れていた。

そもそも車いすで素早く方向転換したり、スピードを出したり、そのスピードから急ブレーキをかけたりというのは、なかなか想像しづらい。

しかし選手たちはそれをやってみせる。

私も試しに車いすに乗り、体育館をぐるぐると走ってみた。

スピードを出そうと必死に両手を動かしてみたが、思うように進まない。

ブレーキも全くかけられない。

慣れもあるのだろうが、選手たちの勢いや声は、チームの一人であり、相手チームから球を守るという責任感や、ゴールという目標があってこそそのものなのであろう。

試合を一通り見て、とても印象深かったことがある。

コート内で得点を狙う“フィールドプレイヤー”というポジションの他に、“ポイントゲッター”と“スペシャルシューター”というポジションの選手がゴールを狙うのだが、球も投げ方も自由なのである。

例えば、手で球を投げることができない選手は、ダンボールでスロープのようなものを作り車いすのひじ掛けに装着する。そしてスロープの上に球を置き、ゴールを見ながら指で球をポンッと押す。すると球は床に落ち、コロコロとゴールへ向かっていく。

他には、球を穴へ入れるとゴールに向かって球が飛んでいく機械を付けたり、ボーリングで使うすべり台のようなものを持ってきてゴールを狙う選手もいる。球も、バスケットボール、サッカーボール、軟球など様々である。

それぞれが自分の障がいに合わせて工夫を施しているのだ。

私は、ハンドサッカーとは、障がい者の中でも一部の人しかできないと思っていた。

しかしどんな障がいであろうと、運動機能に差であろうと誰でも参加できるのだ。

チームのため、自分のために、それぞれが自分を活かせる方法を考える。

そして練習を重ねた結果、ゴールを決めたりチームで気持ちを一つにしたりということが、このハンドサッカーの最大の魅力なのであろう。

自分に自信が持てない、人とのコミュニケーションがうまくとれないという方に出会うことがある。私も、この仕事を始め自信を失うことが何度もあった。

しかし、ハンドサッカーの試合や選手たちの直向きな姿を見ていると元気が出てくる。

勇気も湧いてくるし、チーム内での連携の大事さを改めて感じることができる。

障がいがあってもなくても、沢山の方にハンドサッカーを知ってもらい、そして是非見てほしい。

このスポーツが早く全国へわたり、多くの方の1つの自信に繋がればよいなと強く思う。(k)

## 理事会報告

### 平成 22 年度 第 4 回 理事会報告

日 時：平成 22 年 10 月 19 日（火）午後 7 時から

出席者：前田、植田、佐野(守)、佐野(里)、井上、高山、江上、松浦、神保、三浦、大森、近藤(き)

《報告事項》

#### 1. 会長から

10月28日、都スポ協と打ち合わせを行う。

11月19日、全国指導部運営委員会が戸山サンライズで開催される。

東京で全国大会がある。会長が実行委員として参加しているので、指導員協議会としてもかかわっていきたい。

#### 2. 都スポーツ協会より

高山さん→千葉国体に出発。役員では島さんが参加。

11月3日、指導員協議会との共催で研修を行う。内容は風船バレー。受付と実技のサポートをお願いしたい。

《協議事項》

◆ 総務部より

① 関東ブロック研修会

役割分担：受付－佐野（守）、島 懇親会－矢本、岡、三浦

② 杉並地域大学について（三浦）

今年で3年目。17名が受講した。体育指導員の方が多く参加した。

この間の修了者で組織化を計画中です。

③ 忘年会について（三浦）

12月に忘年会としては実施しない。

◆ 研修部より

センターとの共催研修会、障害区分について（実施予定）

◆ 会計より

日本障害者スポーツ協会より8月末に入金がありました。 納涼祭の売上は25,650円でした。

次回理事会 12月2日(木) 午後7時から

**平成22年度 第5回 理事会報告**

日 時：平成22年12月2日（木）午後7時から

出席者：植田、岡、高山、矢本、江上、佐野(守)、松浦、井上、秋山、島、近藤(き) 三浦

《報告事項》

1. 会長から(植田)

①中級の開催について

4年おきにブロックを回る案が出されています。独自に都道府県で開催する場合、行政からお金が出るため、県外の人に参加できないことがある。

②指導者制度の見直しについて

スポーツコーチの位置づけを高めることを目的として見直しを行う。

2. 都スポーツ協会より

①人事異動 近藤さんが多摩に異動。交代で安川さんが担当になった。

②平成23年都大会。実行委員会が5月28日にスタートする予定。

3. 関東ブロックより

①幹事会：事業計画と会計の話を行った。交通費は今まで各都県持ちだったが、関東ブロック予算から出すことに決定。その他研修会の詰めを行った。

②関東ブロック研修会：無事終了。スタッフ受講者含めて延160名参加した。ハンドサッカーの実技が好評だった。

4. 杉並地域大学について(三浦)

講座が修了し11名の登録者。人材バンクへは13名の方が登録した。

《協議事項》

1. 都スポーツ協会との事業見直し

(1)指導員協議会の課題～課題は①事業の活性化②運営を担う人材不足③研修事業の重複④地域の活性化⑤広報発送作業の負担⑥都スポ協との連携

(2)都スポーツ協会との連携について（要旨）～①事務局機能の一部移管、正会員費を上乗せし事務委託料にできるか？ ②事業の依頼、調整をスポ協で一本化できるか。

③研修の共催④協議会の広報をスポ協広報誌に含めてもらえるか？

\*上記の課題について意見交換を行いました。

2. 各事業部から

①総務部

・新年1月に総務部会を行う（予定）

・総会については平成23年4月23日(土) 多摩SCで行う（予定）

②研修部

・東京国体に向けて種目別の研修を企画（予定）

・障害区分については総会時に行う、講師は高山氏（予定）

次回理事会 平成 23 年 2 月 17 日(木) 午後 7 時から

## 平成 22 年度 第 6 回 理事会報告

日 時：平成 23 年 2 月 17 日(木) 午後 7 時～ スポーツ協会

参加者：前田、岡、植田、松浦、島、高山、矢本、近藤(き)、神保、佐野(里)、三浦(記録)

< 報告事項 >

### 1. 会長より

前田 3月2日のスポーツセミナーに参加します。

植田 スポーツ振興審議会に参加します。

### 2. 都スポーツ協会より

(1) 都大会～これまでと同様、指導員の依頼があると考えられる。

(2) その他～王子、多摩両センターの講習会を指導員協議会との共催で行う。今後広げていく方向。

### 3. 関東ブロックより

(1) 全国研修～神戸での全国研修が終わりました。兵庫県独自のイベントもあり、各県のブースもあったが参加者は十分に見ることができなかった。

(2) 関東ブロック研修会は H23 年 11 月 12 日、13 日で多摩障害者スポーツセンターで行う(予定)

< 協議事項 >

1. 都スポーツ協会(都スポーツ振興局)平成 23 年度事業計画について、尾崎事務局長より説明がありました。

### 2. 各事業部から

#### (1) 総務部

##### ① 平成 22 年度の総会について

・時程 13:00～15:00 研修(障害区分)

15:30～16:30 総会

17:00～18:00 懇親会(会費制で行う)

\* 総会資料原稿の締め切りは 2 月 28 日

(2) 研修部、広報部、会計についても事業計画作成中。

次回理事会 平成 23 年 4 月 12 日(火)午後 7:00～ 飯田橋 スポーツ協会 会議室



## 事務局からのお知らせ

### 総会のお知らせ

#### 総会

日 時：平成 23 年 4 月 23 日(土) 午後 3 時 30 分～ 4 時 30 分

場 所：東京都多摩障害者スポーツセンター 集会室

国立市富士見台 2-1-1 TEL 042-573-3811

議 題：平成 22 年度事業報告、収支決算報告 平成 23 年度事業計画、収支予算、その他

懇親会：平成 23 年 4 月 23 日(土) 午後 5 時～6 時

総会終了後引き続き行いますので、ぜひご参加ください。

#### 研修

日 時：平成 23 年 4 月 23 日(土) 午後 1 時～ 3 時

場 所：東京都多摩障害者スポーツセンター

内 容：障害区分について

講 師：高山浩久氏



☆場所のお間違えにご注意ください!!

**転勤、卒業など引越しをされる方へ**

住所変更をお願いいたします。

<手続きの仕方は…>

日本障害者スポーツ協会養成研修部へ住所変更、活動地の変更をお願いします。

§ TEL:03-5695-5420 FAX:03-5695-5630 E-mail : touroku127@jsad.or.jp

ご不明な点は当事務局へお問い合わせください。メールでも OK

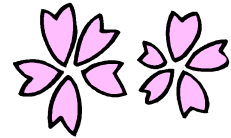
**総会のお知らせ**

平成 23 年 4 月 23 日(土)午後 1 時より総会を開催します。

会場は東京都多摩障害者スポーツセンターです。間違いのないようお願いいたします。

行き方について URL:<http://tamaspo.com> をご覧ください。

委任状の提出は 4 月 17 日までとなっています。

**活動協力依頼一覧を同封しました。**

第 12 回東京都障害者スポーツ大会のご協力をお願いいたします。

その他様々な大会、行事、教室等あります。協力活動可能な行事に○をつけて事務局まで送ってください。

一覧表は表裏になっています。FAX する方は気をつけて両面をお願いします。

\* 郵送の場合…〒162-0823 新宿区神楽河岸 1-1 セントラルプラザ 12 階 指導員協議会事務局まで

\* FAX の場合…03-5206-5587

**感謝!!!**

今年度も多くの会員の方々から多くの活動報告をいただきありがとうございました。

これからも大会、講習会に参加した方はドシドシ活動報告をお寄せください。

メールアドレス info@tcsid.jp へお送りください。

**編集後記**

ようやく春の兆しの見えてきたこの頃。

天候の具合で体調管理も大変ですね。平成 22 年度の締めくりと次年度に向けての準備の時期であります。

協力依頼書を作成しました。たくさんの指導員の皆さんに障害者スポーツにふれていただきお互いに理解を深めてほしいものです。指導員協議会は会員の皆様のご協力があって成り立っております。

これからも指導員の存在が益々生かされるようにがんばっていきましょう。よろしくお願ひ致します。(0)

